

◇編集後記◇

榎神六十三号をお届けいたします。

本号は大森孝教授の古稀を記念して編集いたし、学外からも玉稿をおよせいただきました。ご執筆の各位に篤く御礼を申し上げます。先生は昭和三十四年本学園に就任されて以来、教育・研究にご尽力下さいましたが、この度図書館長・学園理事を最後に職を辞されることになりました。永年にわたるご苦勞に謝意を表します。

昨年四月に理事長の交代がありました。望月一靖前理事長に代って、藤井教雄新理事長が就任されました。

若杉見龍教授には、ご病気の故を以てご退職になりました。先生にも長い間学園のためにお尽しいただきました。一日も早いご快癒をお祈りいたします。

また図書館事務を担当しておられた樋口恵里さんには一身上の都合にてご退職と相成りました。

文部省の科学研究費補助金が平成元年度より交付され「金網集」についての研究成果があげられつつあります

が本学研究史上画期的なことであります。

本年は本学の前身である西谷檀林中興の祖、日遠上人の第三百五十遠忌に当ります。本学の開創は遠く弘治二年（一五五六）身延十四世日鏡上人が西谷に学室「善学院」を創設して学徒を教育したことに発しますが、二十二世日遠上人は中世から近世への大きな時代の転換期にあつて教団をよくリードし、教育制度を整えて宗門の興隆発展を期したのでした。爾来、本学は時代の推移とともに幾多の変遷があつたとはいえ、宗祖「榎神」の道場として、行学二道にわたる宗門の子弟教育に多大な足蹟を残してまいりました。長い伝統に輝く本学園がますます発展していきますよう、同窓の皆様・関係の各位に一層のご支援をお願い致します。

お正月の諸行事を終え、ホッと一息ついていると、湾岸戦争が始まりました。美しかったペルシャ湾はあつという間に油まみれになり、戦争に伴う環境破壊は人類を滅亡へ誘うのかとさえ思えます。一日も早い平和を祈らずにはおられません。

(林)